



発行日／2012年（平成24年）5月15日 発行／羽生市議会 編集／議会だより編集委員会



**祝！ 入学**  
希望いっぱい 夢いっぱい

4月9日(月)に入学式が行われました  
～新郷第二小学校～

## 会議のあらまし

(3月定例市議会)

- ・ 2月24日(本会議第1日)  
開会の後、会期について議会運営委員長から報告があり、3月22日までの28日間と決定。
  - ・ 諸般の報告の後、議案第9号及び同第10号の2議案が上程され、質疑、討論、採決を行う。
  - ・ 続いて、議案第1号から同第8号まで、及び同第11号から同第34号までの32議案に対する質疑の後、議案を各常任委員会に付託し散会
  - ・ 3月6日(本会議第3日)  
市政に対する一般質問(3人)を行い散会
  - ・ 3月7日(本会議第4日)  
市政に対する一般質問(3人)を行い散会
  - ・ 3月8日(本会議第5日)  
市政に対する一般質問(3人)を行い散会
  - ・ 3月9日  
付託議案の審査のため、各常任委員会を開催
  - ・ 3月10日～11日  
休日のため休会
  - ・ 3月12日～14日  
付託議案の審査のため、各常任委員会を開催
  - ・ 3月15日～21日  
各常任委員会事務整理等のため休会
  - ・ 3月22日(本会議第6日)  
付託議案について各常任委員長から審査報告があり、質疑、討論、採決を行う。
  - ・ 続いて、市長から追加議案1件が上程され、採決を行う。
- 最後に、加須市・羽生市水防事務組合議会議員の選挙を行い閉会

# 3月定例市議会開く

## 平成24年度の市政運営はこのように



市政に対する考えを述べる河田市市長

平成24年3月定例市議会は、2月24日から3月22日までの28日間の会期で行われました。

今期定例会では、市長から新年度予算をはじめとする議案35件が提出され、いずれも原案のとおり可決、承認、同意されました。

また、河田市市長は提案理由の説明に先立ち、平成24年度の市政運営について次のとおり述べられました。

### 市政運営方針

世界同時不況からの回復途上にあつた日本経済は、昨年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震と、それに続く巨大大津波や福島第1原子力発電所の事故によって、未曾有の大打撃を受けました。

このような状況の中編成した平成24年度羽生市一般会計予算は、167億2,000万円となり、前年度に比較して2億1,000万円、率にして1.27%の増となりました。

その結果、平成24年度の地方財政の歳入歳出規模は81兆8,647億円、交際費等を除く地方一般歳出は66兆4,533億円となり、平成23年度に比べ3,780億円の減

また、6つの特別会計は、全体で116億5,958万7,000円であり、前年度と比較して768万7,000円の減額、水道事業会計は、0円の減額、水道事業会計は、21億7,504万9,000円で前年度と比較して36%の増となりました。

一般会計のうち、歳出は、子どものための手当の減額によ

る民生費や総務費、公債費などが減少し、小中学校における空調機器設置工事費等により教育費が増大しております。

一方、歳入は、地価下落により減収が見込まれる固定資産税を要因として市税全体で5,500万円程度の減収、地方交付税は、地方財政計画を基礎として算定した結果、2,000万円減の20億6,000万円、臨時財政対策債は前年度と同額の8億8,000万円と見込み、これらの一般財源の総額は前年度に比べ1億6,700万円の減収計上となりました。加えて、国県支出金が2億3,000万円減少するなど、財源確保が厳しい中、6億1,500万円を市債の増額によって対応し、歳出規模を満たすため、財政調整基金を前年度と同様に、5億5,000万円取崩すことといたしました。

今後、計画に沿った、絶え間のない行政改革によって財政健全化を推進し、安全で安心できる市民生活と活力のある羽生市を実現するため、全職員一丸となって、市政運営に取り組んでまいります。

### 固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員のうち、長谷川恒夫委員の任期が3月27日をもって満了となるため、引き続き同氏を選任したいとして、市長から同意を求められました。

市議会では、同氏を適任と認め同意いたしました。

### ボートレース戸田

県内15市で構成する都市競艇組合の収益金の一部は、毎年構成各市に交付され、市民の皆様の暮らしに役立っています。平成23年度は、5千万円の交付金がありました。

日	月	火	水	木	金	土
			5月16日	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	6月1日	2
			GⅢ 新鋭	GⅢ '12新鋭リーグ第10戦		
3	4	5	6	7	8	9
GⅢ '12新鋭リーグ第10戦				第12回 埼玉新聞社杯		
10	11	12	13	14	15	16
第2回 埼玉新聞社杯				日本財団会長賞		
17	18	19	20	21	22	23
日本財団会長賞						
24	25	26	27	28	29	30
				第7回 日刊ゲンダイ杯		



そこが…  
聞きたい

# 市政に対する 一般質問

一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。今期定例会では、3月6日、7日、8日の3日間にわたり9人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

## 羽生市消防本部の救急搬送について

新井 貫司 議員

・質問 市民の生命の危険や健康を脅かす問題など、一刻を争う緊急時には、救急病院への搬送は救急車が頼みの綱となる。

また、市民が社会経済活動を健全かつ円滑に営めるのも、消防本部、救急隊員の活動にかかっており、特に、小児、幼児及び高齢者を抱える家庭に対し、救急搬送体制の確保は、極めて重要な行政の責務であると思われる。

そこで、次の点について伺う。  
①小児の救急搬送先について、また、担当医不在で搬送困難な場合の対処について  
②第2次救急医療圏の変更内容、また、患者の救急搬送とその対応について

③消防広域化第7ブロック脱退は、救急搬送体制のデメリットにならないか。

・答弁(消防長)

①はじめに、かかりつけの医療機関に収容依頼し、担当医不在等により収容不能の場合、埼玉県第二次救急医療体制における東部北地区小児輪番体制に基づき対応する。

そこで、収容が困難な場合は、県立小児医療センター、さらに救命救急センターに収容依頼を行い、救急事案の解決に向け対応を行っている。

②当市は、熊谷地区から東部地区に編入され、久喜市、加須市、蓮田市、幸手市、杉戸町、宮代町、白岡町との5市3町の枠組みとなった。



救急訓練の様子

救急隊の対応としては、まず、患者を観察し、家族に状況確認して、かかりつけ医がある場合、そちらを優先し収容依頼をしている。なお、緊急性を要する際には、救急隊が適切な搬送先について助言を行う場合もある。  
③消防広域化第7ブロック協議会退会後も、救急搬送体制は変わらないことから、従来どおりの救急サービスを提供できるものと考えている。  
今後も、救急業務に対する知識、技術の向上に励み、市民の大切な命を救命することを目的として努力を重ねていきたい。

### その他の質問

・羽生総合病院の建設について

## 議会の詳細は市議会会議録をどうぞ

「羽生市ぎかいだより」は、毎年4回開催される定例会ごとに、本会議で行われた一般質問や議案質疑の主な内容、答弁などをお知らせしています。詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、市議会が発行している「羽生市議会会議録」をご覧ください。  
前会までの会議録は、市立図書館、各地区公民館、市議会図書室(市役所4階)に備え付けられています。  
また、市議会会議録は、市のホームページでも閲覧できます。平成8年以降の会議録がご覧になれますので、是非ご利用ください。

# インターネットの積極的活用について

中島 直樹 議員

・質問 羽生市のインターネットを使った情報発信は、ホームページとメール配信サービスとがあるが、いずれも月並みなものであるとともに、一方的である。

羽生市及び羽生市政を若年層の人々を中心に積極的にPRするため、また、大災害時

に市民との情報共有ルートを構築するため、ツイッター、ユーチューブ、フェイスブック等のソーシャルメディアネットワークキングサービスを積極的に活用すべきと考えるが、見解を伺いたい。

・答弁(総務部長) 当市では、現在、広報はにゅ



うやメール配信サービスなどによる情報提供を行っているが、これらの媒体は、一方的で受け手の反応がつかみづらいといった難点がある。それに対し、ツイッター、ユーチュー

ブ、フェイスブックなどについては、双方向性・速報性に優れた新しい情報発信ツールであると捉えている。

また、東日本大震災発生時には長期間携帯電話や固定電話回線が不通となり、新たな通信手段として、インターネット回線を経由した通信手段が注目を集めた。

そこで、行政として、これらのサービスを活用する必要性を認識しており、活用する中で、市のイメージキャラクターであるムジナもんや、いがま

んちゃんを用いて情報発信をしていきたいと考えている。ただし、これらのサービスの利用には、情報の正確性、また、責任の所在が不明確な情報の扱いなどの課題がある。よって、今後、それらの課題について、先進自治体の事例を参考にしながら、調査研究を進め、導入に向け検討していきたいと考えている。

## その他の質問

・ゆるキャラ®さみつとin羽生について

# 河田市長の政治姿勢について

保泉 和正 議員

・質問 河田市長においては、単独での自主自律を公言している。しかし、市町村合併、消防の広域化などについては、本市にとって避けて通ることのできない課題であり、将来、単独で賄っていくことは難しい面もあると考えられる。そこで、単独路線の行政運

営には、相当の覚悟と政治手腕が必要であると思うが、どのような市政運営を考えているか、また、平成23年度の総括と平成24年度に向けての新たな決意について伺いたい。

・答弁(市長) 単独での行政運営を行っていくうえで、財政健全化を最

優先し事業の選択と集中を図り、効率的、効果的な市政運営を行ってきた。そして、①日本一魅力ある羽生市②単独での自主自律③観光交流人口100万人の3つのマニフェストの実現を目指し、行政改革を進めているところである。

今後、市民の生命、財産を守ることを念頭に置きつつ、より効率的、効果的な市政運営を行い、市民が将来にわたり希望や生きがいを持ち、幸せを感じるまちづくりの実現に向け、強い意志を持ち各種

施策に取り組んでいきたい。

また、平成23年度は、東日本大震災により、多くの被害が発生したが、市民の協力により、東北に人的・物的支援が行えた。また、市政においては、ワイワイ広場in松原の開催、また、農業経営支援対策室を設置し、観光農園の取り組みを行うなど、商工業や農政の活性化を図った。

平成24年度、国では、復興財源の確保、社会保障と税の一体改革など不透明な経済状況の中、見通しは厳しいが、



## その他の質問

・人材育成のための職員研修について

# 羽生市における ゴミ処理について

永沼 正人 議員

・質問 当市の清掃センターは老朽化が顕著であり、最終処分場も93・5%が埋め立てられており、当市のゴミ処理事情は厳しい状況である。

そこで、次の点について伺う。

①ゴミ処理については、長期的視点に立った清掃センター、最終処分場の新設整備計画が必要と考えるが見解はどうか。

②清掃センター等の整備のための基金の考え方について、また、ゴミ処理を有料化し、前述の基金への繰り入れはできないか。

③広域組合加入の可能性について、現在、具体的な進捗はあるのか。

・答弁（経済環境部長）

①平成18年から20年度に、清掃センターの大規模改修工事を行い、29年度までの延命措置を図った。将来にわたり安定したゴミ処理対策をとることは安全・安心な市民生活を担保することと認識しており、まずは、清掃センターの耐用年数以内での広域化に向け、近隣自治体と協議を続けていく。

②平成17年に彩北広域清掃組合から離脱し、その際の清算金をもとに、現在、公共施設修繕引当基金として、約2億



羽生市清掃センター(三田ヶ谷)

8千万円を保有している。今後は、単独、広域化、いずれも多額の財政負担が生じることから、財政状況に合わせて、基金の積み立てをしていきたい。

ゴミ処理の有料化は、ゴミ排出量や処理費などの増加に

繋がる懸念もあり、全国的な動向を注視し、検討を続けたい。

③隣接する加須市または行田市との組み合わせになると考えているが、加須市は合併後間もなく、内部調整が先決の時期であり、広域化を協議する状況にない。行田市とは彩北広域清掃組合の経緯があるが、当市と同様の部分が多く、今後、連絡等を密にしていきたい。

## その他の質問

・市内各中学校における武道必修化について

# 地域水道ビジョン について

齊藤 隆 議員

・質問 平成23年9月、12月、そして今定例会において、水道の耐震化計画や水道事業の環境対策など、水道事業に係る一般質問を行ってきた経緯があり、これらは、地域水道ビジョンを策定するための不可欠事項である。そこで、これらの事項の整合性を図りな

がら統合し、再構築を行い、地域水道ビジョンの策定を行うべきであると考えているが、見解について伺いたい。

また、羽生市地域水道ビジョン策定にあたっては、策定検討委員会の設置が必要であると考えるが、併せて見解を伺いたい。

・答弁（まちづくり部長）

地域水道ビジョンは厚生労働省から、各水道事業者に対し、求められる施策の着実な実行のため、作成が推奨されている。そして、水道事業者は事業の現状及び将来見通しを分析、評価した上で、将来像を設定し、実現方策を明確にすることになる。そこで、水道事業ガイドラインに基づく業務指標等により、現状分析し、過去のトレンドから見通しを立て、具体的な対応策を示す必要があると考えている。

素案の作成に当たっては、

利用者及び学識経験者などの意見を参考にすることが望ましいとされており、本市では、女性団体の代表者、識見を有する者、利用者の15人からなる水道事業運営審議会に素案の説明を行うとともに、意見聴取を行ってきた。

そして、素案がまとまったことから、今後、パブリックコメントを実施の上、意見を反映し、再度、水道事業運営審議会を開催した後、策定する予定になっている。

## その他の質問

・水道事業の環境対策について

・水道におけるアセットマネジメントについて

・情報公開と個人情報保護について



羽生市第2浄水場(下羽生)

# 国民健康保険について

入江 國夫 議員

・質問 市町村国保については、平成24年度から国の定率負担を給付費の34%から32%に引き下げる一方で、都道府県調整交付金は7%から9%に引き上げられた。また、平成27年度から、保険財政共同安定化事業の対象医療費を、すべての医療費に拡大するこ

とされており、これは、国の財政運営の都道府県単位化を推進するものであると思われる。

そこで、保険財政共同安定化事業の見直しについて、また、将来的に保険財政運営が都道府県単位になった場合の見解について伺いたい。

・答弁 (市民福祉部長)

保険財政共同安定化事業は、平成24年度から、対象医療費が「30万円を超える」から「10万円を超える」に引き下げられ、また拋出方法について所得割が導入されることとなった。対象医療費を拡大すると、国保財政が広域化し、保険者が負担する医療費の変動に対し、安定的な運営が可能となる。また、拋出割合については、所得割を導入することで、所得の低い市町村は負担軽減が図られ、当市にとってはメリッ



トがあるものと考えられる。

そして、保険財政運営が都道府県単位になった場合について、現在、国民健康保険は、小規模保険者では財政が不安定になりやすい、医療費、保

険税の地域間格差が生じているなどの問題を抱えている。そこで、広域化により、システムを統一化し、費用の削減などにより、財政基盤の安定化、職員の負担軽減及び人件費の削減が期待でき、公平性が図れるものと認識している。一方、税源の統一により、保険税の水準が上がる市町村が生じる可能性もあり、調整の必要は生じると考えている。

## その他の質問 ・職員体制について

# 農業振興施策について

奥沢 和明 議員

・質問 市内においても、農業環境、特性は地域ごとに異なることから、画一的な施策を進めることは困難であり、それぞれの地域の特性を活かした方法で、農業振興を進めていくことが重要であると思われる。

そこで、羽生市農業の現状

について伺う。また、地域ごとの特性を生かした地区計画の作成、各地区の農業振興推進協議会を核とした取り組みなどが必要と思うが、今後、どのような農業振興の取り組みを行うのか、見解を伺いたい。

・答弁 (経済環境部長)  
平成22年の当市の農家数は、

2, 065戸、農業就業人口1, 624人で、10年前に比べ409戸1, 087人の減となっており、認定農業者は132人で、平均年齢は65歳となっている。今後、5年間の見込みは、既存の農業者が



引退し、農業従事者の大きな減少が予測され、耕作放棄地の増加などが懸念される。そこで、今後の5年間は、極めて重要な時期と認識し、農業者の経営基盤強化や担い手づくりなどの対策を講じていきたい。

また、現在、国策により農地集積の協力に対する協力金の交付や水田の畦畔除去等による区画拡大など、農地集積の整備に対する支援措置が講じられている。また、新規就農者の確保として、青年就農

給付金が新規事業として掲げられており、これらは、当市においても喫緊の課題であることから、農業振興施策の重点事項とし、積極的に活用していきたいと考えている。そして、今後は、羽生市農業再生協議会や、各地区に設置されている農業振興推進協議会を核とし、地区計画をはじめ、地域農業マスタープランの作成など、各々の地域農業に係る施策を推進し、地域が抱える課題改善に向け、地域とともに取り組んでいきたい。

# 生活保護受給者への 支援について

茂木 延夫 議員

・質問 当市では、平成19年度231世帯であった被保護世帯が、22年度には328世帯となり、それに比例し、生活保護扶助費も4億6,357万円であったものが、7億1,462万円となっている。今後増加が予想され、財政負担もますます厳しくなる

ことが見込まれることから、生活保護受給者を減らすための就労支援、自立支援に向けた方策が必要であると考えます。そこで、今後予想される扶助費の増加と財政負担への影響について、また、就労自立を支援する取り組みについて伺いたい。

・答弁（市民福祉部長）  
生活保護費の決算状況は、近年増加傾向を示しており、こうした義務的経費の増加は財政構造の硬直化を招くおそれがある。しかし、高齢化や非婚、病気などの社会的な増額要因を止めるのは困難であり、雇用環境の劇的な好転も望み難いことから、生活保護費については、全国的に次第に増額傾向にあると考えている。

また、就労自立を支援する取り組みとして、当市では平成22年9月から生活就労指導員を配置し、市のケースワーカーと連携、協議し生活保護受給者の可能性を引き出し、自立を図っている。具体的には、ハローワークに同行し就業登録や希望職種の検索サポート、履歴書等の書き方などについての指導も行っており、会社面接への同行支援のほか、就職先の発掘の取り組みも行っている。

こうした取り組みにより、就労率にも向上が見られることから、今後も生活就労指導員による取り組みを継続させ、



就労自立を促進し、増加傾向にある生活保護費の減少に繋げていきたいと考えている。

## その他の質問

・羽生市の人口の推移と将来の展望について

# 中学校での武道の 必修化について

蜂須 直巳 議員

・質問 学習指導要領が改訂され中学校の体育で武道が必修化となり、柔道、剣道、相撲のいずれかを選択することになった。しかし、柔道では過去28年間で39件の死亡事故と93件の傷害事故が発生しており、生徒10万人当たり換算すると柔道の2・37%は2位

のバスケットボールの0・37%と比較しても突出しており、全日本柔道連盟の関係者などから警鐘の声があがっている。そこで、指導者の確保など安全対策の準備状況、保護者への事前説明、禁止事項の徹底をどのように確立するのか、見解を伺いたい。

・答弁（学校教育部長兼生涯学習部長）  
県教育委員会では、武道の必修化に向け、指導者育成のための研修を位置づけ、すべての保健体育科教員が研修を受講している。また、当市では、西中学校で柔道の有段者2人、南・東中学校で、各1人の剣道の有段者がおり、今後は、柔道・剣道連盟との連携など、外部指導者の導入も視野に入れ、安全確保に万全を尽くしていきたい。



協議会研究の様子(西中学校) 東中保健体育研究協議会

また、新しい学習指導要領が告示されてから、文部科学省発行の保護者向けパンフレットにより、周知を行ってきたが、保護者会においても、武道を学習するねらいや安全対策等についても確認を行う。

さらに、過去の事例では、発生した事故は、部活動での事故がほとんどで、授業中の事故は起こっていないが、事故の内容を教訓とし、しっかりと受身を身につけさせる、禁止わざは行わないなどといったことを徹底していきたい。また、事故防止マニュアルを定め、学校間で連携を取り、情報を一元化することや、禁止事項を掲示物で示すなど、各学校で徹底した指導を行い、安全確保に万全の体制を築いていきたい。

# 議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について、質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めるものです。今期定例会では、次の議員によって行われました。

## 齊藤 隆 議員

○議案第28号 羽生市介護保険条例の一部を改正する条例  
・質疑 第6条第1項では、第1号から第7号まで介護保険法施行令第39条第1項の区分により、年間介護保険料を設定しているが、第1号のみ介護保険料の上昇率が、他の約2倍となった根拠を伺いたい。

・答弁 (市民福祉部長)  
第4期羽生市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画では、標準保険料額の負担割合を0・45としていたが、介護保険法施行令第39条第1項第1号では、基準保険料額の4分の2と定められており、第5期計画では、政令に沿った基準割合0.5に合わせることにしたものである。  
そして、今回定める介護保

険料に基づき、第1号の介護保険料基準額を計算すると、年2万1,400円から2万7,000円となり、率では、第2号から第7号の上昇率が13・7%から13・9%の範疇におさまるのに対し、第1号は、26・2%の増となる。

### 〈その他の質疑〉

・議案第10号及び第1号、第3号、第6号、第8号、第16号

## 永沼 正人 議員

○議案第1号 平成24年度羽生市一般会計予算

・質疑 市民と協働による道路等維持事業について、市民ボランティアの労働力が前提となっているが、高齢化が進む中、側溝のふたの上げ下ろしも体力的に困難となってきた。これは実態を踏まえ

た予算措置となっているか。

## ・答弁 (まちづくり部長)

本事業は、羽生市協働によるまちづくり推進事業実施要項に基づき実施しており、地域の生活環境の向上及びコミュニティの育成を目的とし、地域の市民と一体となり、まちづくりを推進するものである。内容は市民の身近な生活環境の整備に係るもので、道路側溝のふたかけや公園等公共空間への花植えなどがある。

まちづくりを通して、地域コミュニティの育成を図る上で、効果的な事業であり、事業内容も自治会ごとの要望に沿っているものと認識しており、世代間の交流や地域コミュニティの形成に繋がっていただきたいと考えている。

### 〈その他の質疑〉

・議案第8号

## 中島 直樹 議員

○議案第1号 平成24年度羽生市一般会計予算

・質疑 市長による提案理由説明において、障がい者支援の推進として、第3期障がい福祉計画の策定をしているが、アンケートの結果は、総合的な相談支援体制の充実を求める声が多くなっているとのことであった。

そこで、このアンケートはどのような方法で行われたのか。

## ・答弁 (市民福祉部長)

羽生市障がい福祉計画第3期の策定に当たり、市内在住の身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保険福祉手帳の所持者と自立支援医療の受給者を対象に、平成23年8月22日から9月5日を調査期間とし、調査を実施した。

調査対象者は2,467人で、回収者数が1,265人、回収率は51・3%であった。

また、療育手帳所持者には、なるべくやさしい表現で設問を作成し、回答については家族、介助者でもよいこととした。アンケートの結果から、相

談体制の充実を求める声が大きいと受けとめており、情報の提供、相談体制の充実が必要であると認識している。

## 入江 國夫 議員

○議案第1号 平成24年度羽生市一般会計予算

・質疑 次の点について伺う。  
①小・中学校の空調機器設置工事について、空調機は集中管理することであるが、教室ごとの温度調節は可能か。  
②市税等電話催告業務の事業計画と事業内容について

## ・答弁 (①学校教育部長兼生涯学習部長 ②企画財務部長)

①教室により条件が異なることから、各教室でのスイッチのオン・オフや温度調節は可能となっている。  
また、集中管理方式により、職員室で各教室の使用状況を確認でき、空調機の切り忘れや冷やしすぎなど、節電対策や児童・生徒の健康管理の面からも有効であると考えている。

②平成23年度に埼玉県の緊急雇用創出基金事業として補助事業に採択され、平成23年10月から業務を開始した事業で





あり、この事業により、新たに滞納者が発生させないこと、さらには確実な財源確保を目指すことなどを目的としている。

そして、事業効果も表れていることから、平成24年度においても、同様の効果を期待し、予算計上したものである。

**保泉 和正 議員**

○議案第1号 平成24年度羽生市一般会計予算

・質疑 木造住宅耐震改修補助金については新規事業とのことだが、事業内容と積算根拠、また、商工観光課所管の住宅改修補助金とあわせての申請は可能か、伺いたい。

・答弁 (まちづくり部長)

東日本大震災以降、日本列島は地震活動期に入ったと言われ、備えとして有効なのが耐震補強である。そこで、補助金交付制度の新設により、耐震化を推進するものであり、本制度は、昭和56年以前の旧耐震基準により建築された木造住宅に、耐震補強工事を実施した際に、工事費の3分の1もしくは20万円を上限に補助金を交付するものである。

予算計上は、先進自治体の実績、また、補助対象建築物は、築30年以上が経過であるが、新築による建て替えを行うケースが多いという実情を勘案し、見込んだものである。

住宅改修補助金の制度は、市内業者が施工する場合に限り補助対象となることから、市内業者で耐震改修とリフォームを同時に行う場合は、両制度の併用が可能と考えている。

**奥沢 和明 議員**

○議案第1号 平成24年度羽生市一般会計予算

・質疑 市体育館耐震補強工事について、平成22年度の耐震診断調査により、一部に補強が必要との結果から、機能確保するための工事とのことである。そこで、工事内容及び計画について伺いたい。

・答弁 (学校教育部長兼生涯学習部長)

具体的な施工箇所は、メインアリーナの客席上部の天井部分へ水平に鉄骨の筋交いを設置し、南北の窓部分、南側会議室及び北側器具庫の壁の一部に鉄骨の筋交いを設置す

ること。また、メインアリーナ2階入口外側にある鉄骨屋根は、大地震の際に落下のおそれがあり、撤去の予定である。

格技棟は、建物西側の窓部分の一部をコンクリート壁に改め、器具庫等の壁部分を鉄骨で補強し、老朽化した建物の外壁の亀裂補修及び塗装改修を行い、全体の窓ガラスを強化ガラスに交換するものである。

工事計画は、市体育協会を始めとする各種スポーツ団体の主催する大会開催状況を勘案し、比較的利用の少ない期間に工事することとし、各利用団体との調整も行っている。

**島村 勉 議員**

○議案第1号 平成24年度羽生市一般会計予算

・質疑 小・中学校空調機について、当市は、財政状況が良好な状態とは言えず、また、他に優先すべき事業等もあると思われるが、この時期に空調機器設置工事を行う理由について伺いたい。

・答弁 (市長)

将来の羽生、そして将来の日本を担う人材を羽生市から

排出するべく、県内一の教育を目指し世界に送り出せる人材を育てたいと考えている。

そこで、学習環境を整え、子どもたちの学力を伸ばすこととは、学校設置者としての責務であり、学力、教育力の向上のためにかける予算は将来への投資であると考えている。

当市の財政事情が、良いと言えないことは十分認識している。しかし、羽生市に住み続けたい、戻ってきたい、住んでみたいと言われるような教育環境、学習環境を速やかに整え、10年、20年先を見据えた人材を育てることを目指し、予算計上したものである。

**蜂須 直巳 議員**

○議案第27号 羽生市あき地の環境保全に関する条例の一部を改正する条例について

・質疑 空き地に加えて空家の規定を追加するものであるが、本条例は当該地が管理不良の状態にならないための強制力がなく、執行範囲が指導

に留まる内容となっている。そこで、条例の実行性について、見解を伺いたい。

・答弁 (経済環境部長)

罰金等の制裁措置、また行政執行など、実行性、強制力をもたせた条例にすることは可能であり、検討も行った。

しかし、その場合、管理不良な状態について、明確な定義づけをする必要があるが、具体的に明示してしまうと、市が関与しづらい状況が生じられるおそれがある。また、害虫の発生や犯罪のおそれ、美観などは、文書で明確な定義づけをすることが非常に困難であると考えられる。

よって、従来どおり、指導、助言、勧告までに留め、柔軟な対応が行えるものにさせていただいている。

〈その他の質疑〉

・議案第1号、第18号



## 3月定例会 審議案件とその結果

●議決結果の公表について

議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠】

薫風会…薫風 拓政会…拓政 公明党…公明 日本共産党…共産 無会派…無派

議案番号	議案名	薫風				拓政				公明	共産	無派	無派	無派	議決結果
		永沼正人	根岸義男	茂木延夫	奥沢和明	中島資二	島村勉	保泉和正	松本敏夫	高橋督儀	斉藤隆	入江國夫	新井貫司	中島直樹	

**市長提出議案**

第1号	平成24年度羽生市一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	—	○	×	×	○	○	原案可決
第2号	平成24年度羽生市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第3号	平成24年度羽生都市計画下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第4号	平成24年度羽生市中小企業従業員退職金等共済事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第5号	平成24年度羽生市住宅資金貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第6号	平成24年度羽生市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	原案可決
第7号	平成24年度羽生市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○	×	原案可決
第8号	平成24年度羽生市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第9号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度羽生市一般会計補正予算（第9号））	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	承認
第10号	平成23年度羽生市一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第11号	平成23年度羽生市一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第12号	平成23年度羽生市介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	○	○	原案可決
第13号	平成23年度羽生市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第14号	羽生市スポーツ推進審議会設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第15号	羽生市公有地の拡大の推進に関する法律施行令第3条第3項ただし書の規模を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第16号	羽生市公共下水道区域外流入分担金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第17号	外国人登録法の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第18号	公益的法人等への羽生市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第19号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第20号	財政事情の作成及び公表に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第21号	羽生市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	×	○	○	原案可決
第22号	羽生市公民館運営審議会設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第23号	羽生市立図書館協議会設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第24号	羽生市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第25号	羽生市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第26号	羽生市重度心身障がい者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第27号	羽生市あき地の環境保全に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第28号	羽生市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	×	○	○	原案可決
第29号	羽生市市営住宅管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第30号	羽生市公共下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第31号	羽生市消防事務手数料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第32号	埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第33号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第34号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	原案可決
第35号	羽生市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	同意

※議長は採決に加わりません。

### 加須市・羽生市水防事務組合議会議長の選挙

加須市・羽生市水防事務組合は、本市及び加須市で組織し、利根川及び渡良瀬川の水防に関する事務を共同で取り組んでいる特別地方公共団体です。

この水防事務組合議会議長の任期満了に伴い、本会議において選挙を行いました。

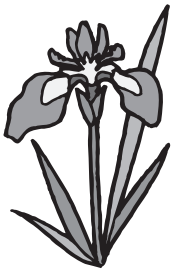
その結果、次の方々が当選されました。

▽同組合規約第6条の規定による議員

- 蜂須直巳氏
- 保泉和正氏
- 奥沢和明氏

▽同組合規約第6条ただし書きの規定による議員

- 馬場日手雄氏
- 西田哲三氏
- 松本繁氏



### 平成24年 第1回 臨時市議会開く

4月19日に平成24年第1回臨時市議会が開催されました。

市長から「専決処分承認を求めるとして(1)（羽生市都市計画審議会条例の一部を改正する条例）」「専決処分承認を求めるとして(2)（羽生市税条例の一部を改正する条例）」「専決処分承認を求めるとして(3)（羽生市都市計画税条例の一部を改正する条例）」「羽生市固定資産評価員の選任につき同意を求めるとして」の4議案が提出され、いずれも承認、同意されました。

### 農業委員会委員を推薦

農業委員会委員の任期満了に伴い、市長から推薦依頼を受けたため、市議会では次の4名の方を推薦いたしました。

- 下新郷 漆原 弘一氏
- 須影 間仲 立美氏
- 下岩瀬 福田 茂雄氏
- 日野手新田 漆原 正雄氏

### 平成24年 第1回臨時市議会 審議案件とその結果

【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠】

薫風会…薫風 拓政会…拓政 公明党…公明 日本共産党…共産 無党派…無派

議案番号	議案名	党派											議決結果			
		永沼正人	根岸義男	薫風 茂木延夫	奥沢和明	中島資二	島村勉	保泉和正	松本敏夫	高橋晋儀	公明 斉藤隆	共産 入江國夫		無派 新井貴司	無派 中島直樹	無派 蜂須直巳
第36号	専決処分の承認を求めるとして(1) (羽生市都市計画審議会条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第37号	専決処分の承認を求めるとして(2) (羽生市税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	承認
第38号	専決処分の承認を求めるとして(3) (羽生市都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	承認
第39号	羽生市固定資産評価員の選任につき同意を求めるとして	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

### お詫びと訂正

平成24年2月15日発行の羽生市ぎかいだよりにおいて、3ページの中島直樹議員の一般質問、その他の質問のなかで「今後のゆるキャラさみっ」とin羽生について」が抜けておりました。

お詫びして訂正させていただきます。

### 傍聴について

羽生市議会では、本会議の傍聴を実施しております。市役所5階で受付をしていただければ、どなたでも傍聴できます。(一般席48席)

### 6月定例市議会の日程

6月定例市議会は、左記のような日程で予定されています。

月日	曜日	時刻	内容
6月5日	火	午前9時30分	本会議初日(開会)
6月6日	水		
6月11日	月		
6月12日	火	午前9時30分	本会議(議案に対する質疑)
6月13日	水	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
6月14日	木	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
6月15日	金	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
6月16日	土		休日のため休会
6月17日	日		休日のため休会
6月18日	月	午前9時30分	各常任委員会
6月19日	火		
6月21日	木		事務整理等のため休会
6月22日	金	午前9時30分	本会議最終日(閉会)

※6月定例市議会の日程は、6月1日(金)に開催予定の議会運営委員会にて決まりますので、変更になる場合もあります。

# 各常任委員会の経過

## 総務文教 委員会

委員会に付託された案件は、議案12件でした。

平成24年度羽生市一般会計予算の審査では、農業費において「県営は場整備事業の手子林地内の土地改良事業について、この事業により、効率的な農業経営、生産性の向上がどう図れるのか見解を伺いたい。」との質疑に対して「効率的な農業経営を図るための要素として、規模拡大に向けた農地の集積が重要であり、この事業は区画が大規模区画になっていることから、効率的な農業経営に繋げることができる」と認識している。また、土地改良事業により、就業しやすくなる青年等が就業・就業しやすい環境を整備することで、次代を担う青年や中高

年齢者の新規就農者の就業・就業を促進したいと考えている。」との答弁がありました。

また、教育費において「小・中学校空調機器設置工事について、国からの補助金内示が決定する時期について伺いたい。」との質疑に対して「例年であれば内示時期は5月ごろになる。児童生徒の安全を確保するために、夏休み中に工事を予定している。しかし、補助金の内示の時期が遅れた場合、安全確保を最優先して長期休業中や土日に工事を行うことから、夏休み中に工事



審査結果を報告する茂木委員長

## 都市民生 委員会

委員会に付託された案件は、議案22件でした。

が完了しないことも考えられる。」との答弁がありました。これらの審査の結果、付託議案12件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

平成24年度羽生市一般会計予算の審査では、生活保護総務費において「近年、就労支援事業に力を入れているようだが、対象年齢、また、対象人数について伺いたい。」との質疑に対して「基本的には65歳までを就労支援の対象者としており、54名いる。最近は対象者の状況を把握できるように就労支援シートを作成しており、就労率が向上してきている。」との答弁がありました。次に、平成24年度羽生市介護保険特別会計予算の審査では「介護保険料が前年度比較における、増額要因は何か。」との質疑に対して「第5期事業計画において、3カ年の基準

保険料額を同額としており、これに所得段階による数値を換算して算出している。第5期事業計画では、第4期事業計画と比較して約500円の増額となったため全体でも増額計上となったものである。」との答弁がありました。次に、羽生市公共下水道条例の一部を改正する条例の審査では「なぜこのような不況の中、新たに手数料を徴収するのか。」との質疑に対して



審査結果を報告する根岸委員長

「県内の約80%の団体で手数料を導入しており、受益者負担の原則と健全な経営を行うため手数料を設けるものである。」との答弁がありました。委員会では、これらの審査の結果、付託議案22件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

### 3月定例市議会傍聴者数

2月24日	9人
3月5日	21人
6日	62人
7日	11人
8日	7人
22日	21人
計	131人

常任委員会傍聴者数

3月9日	0人
12日	4人
13日	0人
14日	0人
計	4人

計4人でした。

### 《議会だより編集委員会》

- 委員長 高橋 督儀
- 副委員長 松本 敏夫
- 委員 保泉 和正
- 委員 茂木 延夫
- 委員 根岸 義男



ご意見などを  
編集委員会まで

☎048(561)1121

(内線 513)